

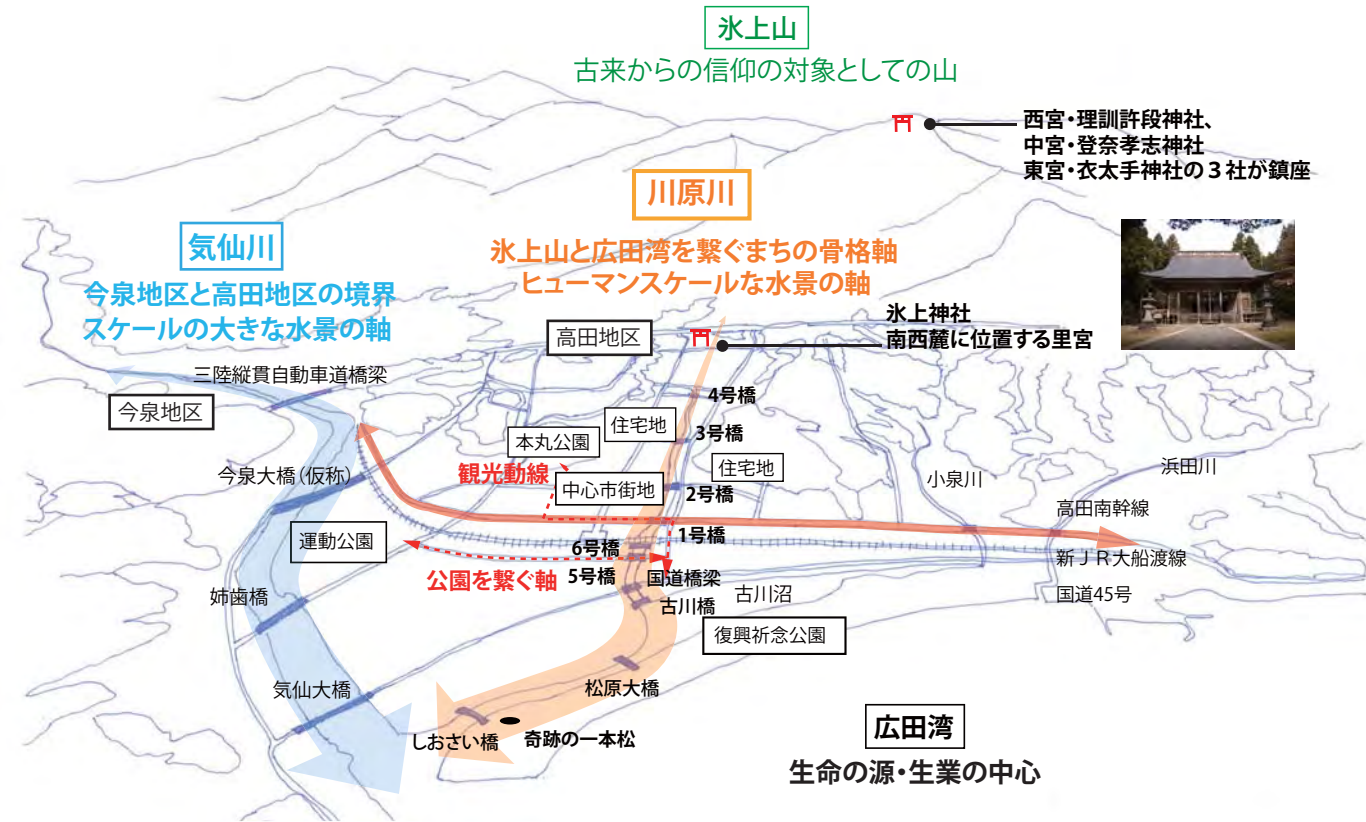
## ■ 陸前高田にとっての川原川（公園）

### ◇ 川原川（公園）の都市的な位置づけ

- ・陸前高田には、気仙川・川原川・小泉川・浜田川と大きく4つの河川が流れている。
- ・気仙川は、今泉地区と高田地区を分かつ境界の役割を果たし、川幅が大きくスケールの大きな水景の軸として位置する。一方で、高田地区の中心を流れる川原川は、古来からの信仰の対象である氷上山と広田湾を繋ぐ、云わば『まちの骨格』ともいえる軸であり、陸前高田の自然・文化・記憶の継承の軸として位置づけられる。
- ・気仙川に比べて川原川は川幅が小さく、街なかに位置するため、密に架橋される小規模な橋梁群や、周囲の街並み、シンボルロード等と一体となって、ヒューマンスケールな風景を形成する。

### ◇ 高田地区の水辺の風景としての川原川

- ・川原川は、近年は水質が悪化していたものの、子供の遊び場など、昔から市民の日常の中の身近な自然環境としての役割を担っていた水辺の空間であった。
- ・40代以降の世代では、『沢蟹を採って遊んだ記憶』『水をせき止めて水遊びをした記憶』『鮭が遡上してきていた記憶』など、山と海とが一体となった豊かな生態系を持った水辺の風景として、川原川の昔の姿を記憶に留めている方も少なくない。
- ・浸水範囲外の上流では、生活と水辺との関係から生まれる風景が随所に残っている。



## ■ 川原川公園デザイン（案）

### まちへのゲート区間 （いざないの水辺）

**[継承する]**  
川遊びの記憶を継承する親水性の高い河川と一体的な公園空間づくり

### まちの区間（にぎわいの水辺）

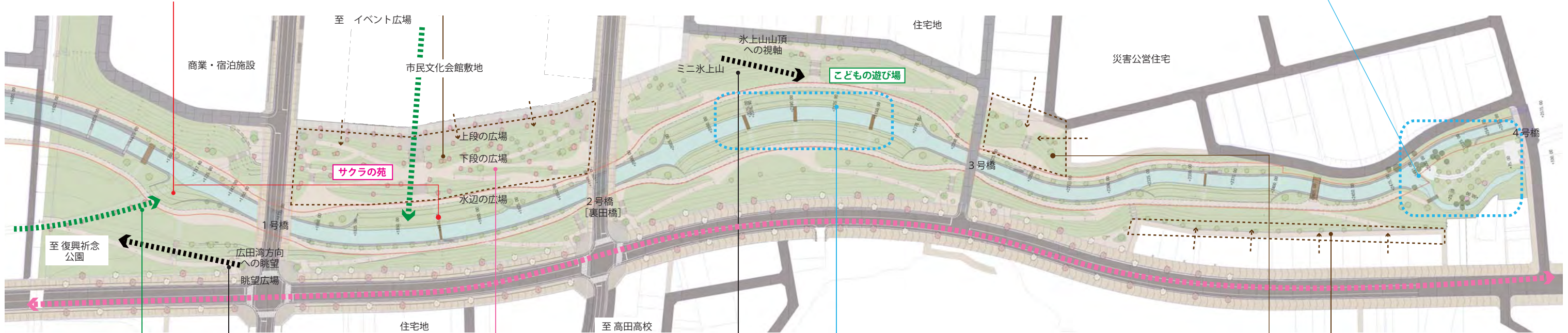
**[生み出す]**  
まちなかのにぎわいを川原川へと結びつける文化施設敷地や歩行者専用道路と一体となったお花見広場

### まちと生活の区間（記憶の水辺）

**[継承する]**  
日常の中に存在した身近な自然・遊び場としての河川空間を子供たちに継承するこどもの遊び場（そり遊び等を意識した法面勾配）

### 生活の区間（暮らしの水辺）

**[残す]**  
津波に耐えた河畔林を残し風景の記憶として活用



**[継承する]**  
復興祈念公園からまちなかへのゲートウェイとして旧道の動線を継承する

**[残す]**  
まちの骨格を意識した広田湾への眺望広場

**[生み出す]**  
被災により失われた酔仙酒造のお庭での花見の風景を、川原川公園で新たな原風景として生み出すサクラの苑

**[残す]**  
まちの骨格を意識した氷上山への軸性のある園路

**[継承する]**  
まちなかに架かっていた川原川3橋を水辺の動線として継承する

**[生み出す]**  
住宅地と一体となった豊かな河川沿道空間を創出